

施設園芸のデジタル化推進プロジェクト(Dプロ)について



温度や湿度などハウス内環境データを効果的に活用することで、飛躍的な収量向上を目指したプロジェクト（Dプロ）を展開しています。

- 県内でデータ活用により飛躍的な収量向上を実現している生産部会の取組を、**県内全域に拡大する仕組みを構築！**

データ活用により飛躍的な収量向上を実現

- ・ラプター会（きゅうり）※宮崎市田野町
- ・ハッピーマン（ピーマン）※西都市 等

Step1

データの**収集**

環境モニタリング機器を生産者施設に設置

Step2

蓄積

データ共有基盤を構築

ハウス環境（温度、湿度、炭酸ガス濃度等）

JA出荷データ等

Step3 **提供**

グラフ・比較データ等を提供

技術員による指導

113名
きゅうり、ピーマン
(モニター農家)

- データの収集から蓄積・提供を3ステップで展開

Step1（データの**収集**）

- ・113戸のきゅうり・ピーマン生産者に環境モニタリング機器を設置（ネポン製と誠和製の2社）

Step2（データの**蓄積**）

- ・ネポン社のDB（Chabu-dai）を活用
- ・JA出荷データと連携 ※宮崎県初

Step3（データの**提供**）

- ・閲覧用スマホアプリの開発
- ・データ分析ソフト（Chabu-dai口ガー）を活用

プラスα

- ・協議会や地域単位にワーキンググループを設置
- ・データを活用できる指導人材を育成

きゅうり・ピーマン全農家に拡大

↓
施設園芸品目に波及